

九州両生爬虫類研究会 第4回 鹿児島(奄美)大会 プログラム ver.13.1.16

1 目的

- 1) 九州の両生類・爬虫類について調査研究した内容を報告，情報交換を行い，内容の深化や新たな課題等を考える。
- 2) 大会を通して，急速に失われつつある自然環境の保護・啓発を促進する。
- 3) 鹿児島県が誇る奄美大島の自然や両生・爬虫類およびその生息環境の観察を行う。
- 4) 奄美の自然関係の各種団体との交流を図り，それぞれの活動への理解を深めるとともに，今後の人的交流の促進に資する。

2 日時 2013年2月9日(土)～10日(日)

- 3 会場 2月9日(土):奄美自然観察の森(龍郷町)，他
2月10日(日):奄美市立奄美博物館(奄美市名瀬長浜町)

- 4 共催 奄美市立奄美博物館，奄美の自然を考える会
協力団体 奄美野鳥の会，群島鳥類研究会，奄美両生類研究会，奄美哺乳類研究会

5 日程概要

2月9日(土)

14:15 奄美空港集合(鹿児島便 12:50→13:55，福岡便 12:35→14:00)

14:30 バスにて奄美空港発

15:00 エクスカーション①(奄美自然観察の森) テーマ:「奄美の昼の森(亜熱帯の照葉樹林)」
アマミアオガエルの卵塊，シリケンイモリ，ルリカケス，ヒカンザクラ(最盛期) etc.

17:00 自然観察の森発

17:30 夕食会(久倉にて鶏飯)

18:15 久倉発

18:45 名瀬市内ホテル着・チェックイン

19:15 現地ガイドの車にてホテル発

エクスカーション②(奄美大島各地) テーマ:「奄美の夜の生き物たち」

21:30 頃 ホテル着(あとは各グループの裁量で)

2月10日(日)

9:00 開会

9:15 記念講演「ハブの島嶼間変異から見える南西諸島の成立」(東京大学医科学研究所 服部正策氏)

10:40 研究発表① 4題 11:40 休憩

11:50 研究発表② 3題

12:35 昼食，記念写真，

13:10 ポスター発表(奄美の自然関係各団体等)

14:00 研究発表③ 4題(奄美関係)

15:20 一人一枚写真

16:20 総会(2012年事業報告，2012決算，2013予算，2013事業計画)

16:50 閉会

19:00 懇親会(ホテル ビッグマリン 2F)

2月11日(月・建国記念の日) 自主研修・移動日

<エクスカーショ ン 2月9日>

エクスカーショ ン①（奄美自然観察の森） テーマ：「奄美の昼の森（亜熱帯の照葉樹林）」

自然観察の森ではアマミアオガエルの卵塊やシリケンイモリ、運が良ければルリカケスやアカヒゲも見られるかもしれません。最大の見どころは、田中一村を魅了した奄美の亜熱帯の森です。自然観察の森周辺や近くの本茶峠の満開のヒカンザクラは必見です。

エクスカーショ ン②（奄美大島各地） テーマ：「奄美の夜の生き物たち」

夕食がすんだら、名瀬のホテルにチェックイン。すぐに現地スタッフの車に分乗して奄美大島各地で少人数での夜の野外観察を行います。現地スタッフは奄美の自然を考える会、奄美野鳥の会、奄美両生類研究会、群島鳥類研究会、奄美昆虫同好会の頼もしいメンバーです。特別天然記念物アマミノクロウサギや、「日本一美しいカエル」イシカワガエルを探しに奄美の夜の森へ。漆黒の森に響き渡るイシカワガエルの声も見所、いや聴き所の一つです。

自然関係団体	ガイド	メンバー			
奄美の自然を考える会	常田 守	松尾 公則	坂本 真理子	山根 明弘	クロウサギ中心 林道コース
		小溝 克己	勇人		
奄美の自然を考える会	勝 広光	長友 宏子	小野 充之	小野 敦	
奄美哺乳類研究会	永江 直志	富永 篤	亀谷 秋恵	藤田 宏之	両爬中心 林道コース
奄美野鳥の会	高 美喜男	有吉 正昭	有吉 直子	優太郎 康太郎	
奄美野鳥の会・両生類研究会	永井 弓子	八木 真紀子	那須 尚子	田場 美沙基	
奄美野鳥の会・奄美昆虫同好会	山室 一樹	渡邊 剛	日野 勝徳	中間 弘	
群島鳥類研究会	恵沢 岩生	中野 絃一	中野 康子	森 三保	両爬中心 フォレストコース
奄美昆虫同好会	西 真弘	森田 祐介	江頭 幸士郎	永野 昌博	
奄美両生類研究会	大海 昌平	丸山 由紀子	池田 淳	倉本 満	
奄美の自然を考える会	榮 和朗	橋詰 海斗	菅野 一輝	下地 直子	



<大会 2月10日>

1 特別講演 9:15~10:30

演題：「ハブの島嶼間変異から見える南西諸島の成立」

※ ハブ(奄美大島産, 徳之島産), トカラハブ(黒, 白)の生体展示含む

講師：服部正策氏 (東京大学医科学研究所 準教授)

2 研究発表 午前の部 (九州各県・九州外)

10:40~10:55 「ツシママムシのツシマアカガエル捕食例」

藤田 宏之 (埼玉県立 川の博物館 学芸員)

10:55~11:10 「九州産タゴガエルの遺伝的変異」

○江頭 幸士郎・松井 正文 (京都大学・人間・環境)

11:10~11:25 「オオイタサンショウウオの繁殖環境の選好性」

永野 昌博 (大分大学 教育福祉科学部 生態学研究室)

11:25~11:40 「長崎県の爬虫類相」

松尾 公則 (長崎女子短大非常勤講師)

11:40 休憩

11:50~12:05 「シリケンイモリの発生における水温の影響」

○亀谷秋恵・嶺井直樹・富永篤 (琉球大学 教育学部)

12:05~12:20 「流水環境で繁殖するリュウキュウカジカガエルの繁殖期の生態調査」

○田場美沙基 (琉球大学 大学院教育学研究科)・仲宗根貴道 (琉球大学 教育学部)

清澤昇太 (沖縄県立 南部商業高等学校)・富永篤 (琉球大学教育学部)

12:20~12:35 「九州 (西日本) におけるアカハライモリの遺伝的分化」

富永 篤 (琉球大学 教育学部 自然環境科学教育コース)

12:35 記念写真 (奄美博物館前予定)・昼食

3 ポスター発表 (奄美の自然関係各団体, 他)

13:10~13:55

4 研究発表 午後の部 (鹿児島県 (奄美自然関係団体代表))

14:00~14:15 「奄美の固有種・固有亜種について」

鳥飼 久裕 (奄美野鳥の会)

14:15~14:30 「奄美の哺乳類における問題について」

永江 直志 (奄美哺乳類研究会)

14:30~14:45 「奄美大島におけるイシカワガエルの生活史を通じた行動圏と利用環境の解明」

永井 弓子 (奄美両生類研究会)

14:45~15:05 「イシカワガエルとオットンガエルの繁殖について」

常田 守 (奄美の自然を考える会)

<一人一枚写真発表> 15:15~16:05

氏名	県	種名
松尾 公則	長崎	カスミサンショウウオ
藤田 宏之	埼玉	アマミイシカワガエル
有吉 正昭	福岡	ツチガエル
有吉 直子		
有吉 優太郎(中2)		
有吉 康太郎(小6)		
那須 尚子	熊本	ニホンヤモリ
中野 紘一	福岡	ニホンヒキガエル
中野 康子		
坂本 真理子	熊本	ジムグリ
森田 祐介	大分	ヒカアとリュウキュウアカガエル
江頭 幸士郎	京都	コガタブチサンショウウオ
長友 宏子	宮崎	ニホンアマガエル
永野 昌博	大分	カブトニオイガメ
森 三保	福岡	ひっくりカエル(ツチガエル)
山根 明弘	福岡	ブチサンショウウオと卵
渡邊 剛	鹿児島	ニホンヤモリ
富永 篤	沖縄	マダラトカゲモドキ
亀谷 秋恵	沖縄	イシカワガエル
田場 美沙基	沖縄	イシカワガエル
下地 直子	沖縄	リュウキュウアオガエル
橋詰 海斗	沖縄	キノボリカゲ
日野 勝徳	大分	オオサンショウウオ
小溝 克己	鹿児島	オビトカゲモドキ
小溝 勇人	鹿児島	タゴガエル
菅野 一輝	福岡	オットンガエル
笹岡 康則 (写真のみ)	宮崎	シロマダラ
	宮崎	ヒバカリ
池田 淳	佐賀	スッポン
小野 充之	大分	タゴガエルと卵塊
小野 敦		

<ポスター発表> 13:10~13:55

「北九州市立自然史・歴史博物館自然史友の会 両生・爬虫類研究部会の活動紹介」
中野 紘一 (北九州市立自然史・歴史博物館 自然史友の会 両生・爬虫類研究部会)

「ブチサンショウウオ (雄) のユニークな動き」
中野康子 (北九州市立自然史・歴史博物館 自然史友の会 両生・爬虫類研究部会)

「奄美野鳥の会の活動報告」
鳥飼久裕 (奄美野鳥の会会長)

「野外におけるイシカワガエルオタマジャクシの成長・発育」
大海昌平 (奄美両生類研究会)

「アマミイシカワガエル地域個体群間の体サイズ比較」
大海昌平 (奄美両生類研究会)

「5本目の指の謎~オットンガエルの拇指の意義とは~」
岩井紀子 (奄美両生類研究会)